

■本資料のご利用にあたって(詳細は「利用条件」をご覧ください)

本資料には、著作権の制限に応じて次のようなマークを付しています。
本資料をご利用する際には、その定めるところに従ってください。

* : 著作権が第三者に帰属する著作物であり、利用にあたっては、この第三者より直接承諾を得る必要があります。

CC : 著作権が第三者に帰属する第三者の著作物であるが、クリエイティブ・コモンズのライセンスのもとで利用できます。

Ⓒ : パブリックドメインであり、著作権の制限なく利用できます。

なし : 上記のマークが付されていない場合は、著作権が東京大学及び東京大学の教員等に帰属します。無償で、非営利かつ教育的な目的に限って、次の形で利用することを許諾します。

- I 複製及び複製物の頒布、譲渡、貸与
- II 上映
- III インターネット配信等の公衆送信
- IV 翻訳、編集、その他の変更
- V 本資料をもとに作成された二次的著作物についての I からIV

ご利用にあたっては、次のどちらかのクレジットを明記してください。

東京大学 UTokyo OCW 学術俯瞰講義
Copyright 2014, 藤幡正樹

The University of Tokyo / UTokyo OCW The Global Focus on Knowledge Lecture Series
Copyright 2014, Masaki Fujihata

知ること、作ること

東京藝術大学大学院映像研究科

藤幡正樹

9th of Dec. 2014

知るとはなにか

「生きることは、知り続けること。」

差異に気がつくこと。違いが判ること。

そのためには、

集めて、比較のできる状態を作る必要がある。

環境の中にある差異への気づき

まず、自然を前にして、対象の違いに気づく。

そこにパターンがあることに気づく。

知ったことの証として、

「名付ける」ということ。

時間の中にある差異への気づき

現象の発見。

行為や経験によって生まれる出来事がある。

「モノ」ではなく、「コト」

差異によって時間が発見される。

記述のメディア

知った対象の知識をどのような方法で記述するか？

ことばによって記す。

絵によってイメージを記述する。

音声によって、音を真似る。

記憶のメディア

ことばを文字で石に掘る。紙に記す。

石のモニュメント。墓、オベリスク、建築。

キャンバスに描く。

音楽を楽譜に記述する。

コミュニケーションのメディア

ことばによる会話。→電話など？

紙に記す。→書籍、新聞、雑誌

キャンバスの絵画。→写真に撮り印刷

歌や音声。→レコード、ラジオ

(共時性、通時性)

創造性とは何か

これまで、世界に存在しなかったものを
ひとつ新たに加えること

人工物 労働と仕事と活動(Labor, Work, Action)

人間だけが行える仕事(Work)

創造の媒体問題

記録のメディアと記述のメディア。

表現の道具は、メディアか？

ex. 色眼鏡は世界の見え方を変える？

Application, Utility, equipment, instrument, tool etc.

デジタル・メディアの出現

創造とディストリビューションのメディアが同一。

記憶の外在化

過去と現在がフラットになった。

新しいリテラシー

書籍とメディア

「これがあれを滅ぼすだろう」V.ユーゴー

書籍vs.コンピュータ Web以前「マルチメディア」

「インタラクティブ・ブック」という概念。

新しい読み書きの基盤？

メディアとコミュニティ

教会という場。建築、絵画、歌。

放送はたやすく越境する。(1989年、ベルリン壁崩壊)

テレビの同時性。番組表。

モニュメント